

米・プリンストン大学で国際政治(戦争論)を専攻した著者による
世界での「今後の日本」

世界の「今」を読み解く!

図解

新・地政学入門

高橋 洋一 著 / 12月15日(木)発刊

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は、高橋 洋一 著『世界の「今」を読み解く!【図解】新・地政学入門』を12月15日(木)に刊行いたします。

最新情報 アメリカ中間選挙についても掲載!
地政学とは「世界の戦争」の歴史を知ることである

なぜ、中国は、台湾に手を伸ばそうとしているのか

なぜ、ロシアは、ウクライナに侵攻したのか。

ヨーロッパの団結は今なお揺るぎないといえるのか。

アメリカが自信たっぷりに自国のロジックを振りかざしてこられたのは偶然なのか。

そして、日本はこれらの国々とどう向き合い、どう世界の外交舞台で立ち回っていったらいいのか。

今、アメリカ以外に、日本にとってもっともキーとなる国はインドといえるが、それはなぜなのか

本書は、プリンストン大学で国際政治(戦争論)を専攻した著者が、「中国」「ロシア」「ヨーロッパ」「アメリカ」という具合に、地球儀を大きく4分割して、世界の戦争の歴史＝「地政学」を辿りながら、世界の現在と未来をわかりやすく解説。

地理的条件から世界の戦争の歴史を概観し、世界のニュースの「深層」をとらえる頭を手に入れることができる1冊です。

YouTubeチャンネル登録者
数79.6万人!

地政学とは何か (本書“まえがき”より抜粋)

その国の性格、俗に「国民性」「お国柄」などと呼ばれるものの根幹にも、地理的条件が大きく関わっているといっても過言ではない。

これら危機意識や戦略思考が目に見える形で現れるのが、戦争だ。置かれた地理的条件によって、それぞれの国の生き残りや発展をかけた野心が生まれ、そこから、さまざまな戦争が起こってきた。

すべての戦争には、地理的条件による各国なりの「切実な事情」が絡んでいる。

そうした戦争の歴史を知ることが地政学であり、この視点をもって世界を見つめてみるのが、世界の深層をとらえる頭につながるのである。



書籍名：世界の「今」を読み解く!【図解】新・地政学入門

刊行日：2022年12月15日(木)

価格：1,650円(10%税込)

ページ数：296ページ

著者名：高橋 洋一

ISBN：978-4-86667-421-6

【目次】

プロローグ よりよい、より広い土地を巡る
「戦争の歴史」—— 地政学

第1章 とにかく「広い海」が欲しい
中国の地政学

第2章 昔も今も「南」へ向かいたい
ロシアの地政学

第3章 争いを経て作られた「共同体」
ヨーロッパの地政学

第4章 かつての「世界の警察官」
アメリカの地政学

エピローグ 日本の現在と今後を考える



著者プロフィール

高橋 洋一(たかはし・よういち)

1955年東京都生まれ。都立小石川高校(現・都立小石川中等教育学校)を経て、東京大学理学部数学科・経済学部経済学科卒業。博士(政策研究)。

1980年に大蔵省(現・財務省)入省。大蔵省理財局資金企画室長、プリンストン大学客員研究員、内閣府参事官(経済財政諮問会議特命室)、総務大臣補佐官、内閣参事官(総理補佐官補)等を歴任。

小泉内閣・第一次安倍内閣ではブレーンとして活躍し、「霞が関埋蔵金」の公表や「ふるさと納税」「ねんきん定期便」など数々の政策提案・実現をしてきた。また、戦後の日本における経済の最重要問題といわれる、バブル崩壊後の「不良債権処理」の陣頭指揮をとり、不良債権償却の「大魔王」のあだ名を頂戴した。2008年退官。

その後、菅政権では内閣官房参与もつとめ、現在、嘉悦大学経営経済学部教授、株式会社政策工房代表取締役会長。

『【図解】ピケティ入門』『【図解】経済学入門』『【明解】会計学入門』『【図解】統計学超入門』『外交戦』『【明解】経済理論入門』『【明解】政治学入門』『99%の日本人がわかっていない 新・国債の真実』(以上、あさ出版)、第17回山本七平賞を受賞した『さらば財務省! 官僚すべてを敵にした男の告白』(講談社)など、ベスト・ロングセラー多数。

情報掲載、画像提供の問い合わせ先

古垣(フルガキ)TEL:03-3983-3225 090-4424-6911 furugaki@asa21.com

株式会社あさ出版 東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階